

製品名: デルタオピオイド受容体ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86986**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:100-1:500, FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:40 kDa; Observed MW:40 kDa

抗原情報

遺伝子名	Delta Opioid Receptor
別名	OPRD
遺伝子 ID	4985
SwissProt ID	P41143
免疫原	ヒトデルタオピオイド受容体の合成ペプチド

背景

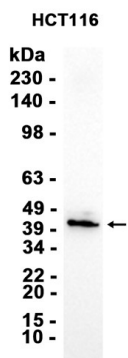
Gタンパク質共役受容体。内因性エンケファリンおよび一部のオピオイドの受容体として機能する。リガンド結合により構造変化が

起こり、Guanine nucleotide binding protein (Gタンパク質) を介したシグナル伝達が誘導され、Adenylate cyclaseなどの下流エフェクターの活性が調節される。シグナル伝達はAdenylate cyclaseの活性阻害につながる。カルシウムイオン電流を減少させ、カリウムイオン伝導性を高めることで神経伝達物質の放出を阻害する。疼痛知覚およびオピオイド系鎮痛に関与する。モルヒネに対する鎮痛耐性の形成にも関与する。

研究分野

-

画像データ



デルタオピオイド受容体ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HCT116 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。